

あゆりん

静岡市立PTA連絡協議会
12ブロック母親委員会便り
平成26年2月発行 第4号
編集担当：和田島小・中河内小
西河内小・両河内中

《活動報告 その1》

11/14(木) 闘茶会 in 西里森林公園

今回参加の母親委員は皆、闘茶会初体験。JAお茶サークルの方の説明に興味津々、真剣に聴き入っていました。そしていよいよ闘茶会がスタート。この日飲み比べるのは、煎茶・くき茶・ほうじ茶・紅茶の4種。まず1杯ずつ出されるお茶の色・香り・味を自分の目・鼻・口で感じたままを言葉で表現して書き留める。その後、再び出されたお茶を先に書き留めたメモを参考に、色・香り・味を思い出しながら考え答えを出す。1度出した答えは変えられないというのが決まり。煎茶とくき茶の微妙な違いに「あー間違えちゃった」「私もー！」と会場は大盛り上がり。結果20名中全問正解者8名。楽しみながらもお茶の奥深さを知り、今まで以上にお茶を好きになりました。

闘茶会后、お茶の美味しい入れ方も教えていただきました。この日いただいたお茶は、両河内産かぶせ茶『燦(きらら)』ゆっくりゆっくり優しく淹れられたお茶、香りにビックリ、味にビックリ、まさしく未知の味。「お茶じゃないみたい！」と参加者一同大歓声、大騒ぎ！用意していただいた秋の味覚、栗の渋皮煮と、ほっこり優しいお茶の味に心癒され、幸せなひと時を過ごした母親委員達でした。

《活動報告 その2》

1/23(木) 糸紡ぎ&手織り体験 in 麦挽小屋さん

やわらかな木漏れ日に包まれた自家製天然酵母のパンの店、麦挽小屋さん店舗一角をお借りし、由比小母親委員でもあり、自然体験活動上級指導者の東山さんに糸紡ぎ&手織りを教えていただきました。使用するのはカラフルに着色された羊の原毛。これをスピンドル(糸紡ぎゴマ)を使って紡ぎ一本の糸にしていく。この作業、最初は皆さん真剣すぎて無言の間が過ぎてゆく過ぎてゆく。だんだん楽しくなってきた沢山の糸が出来上がりました。麦挽小屋さんの心と体に優しい<ヒーリングブレッドランチ>をいただきながら、雑談に花を咲かせちょっぴり休憩。続いて手織り体験です。

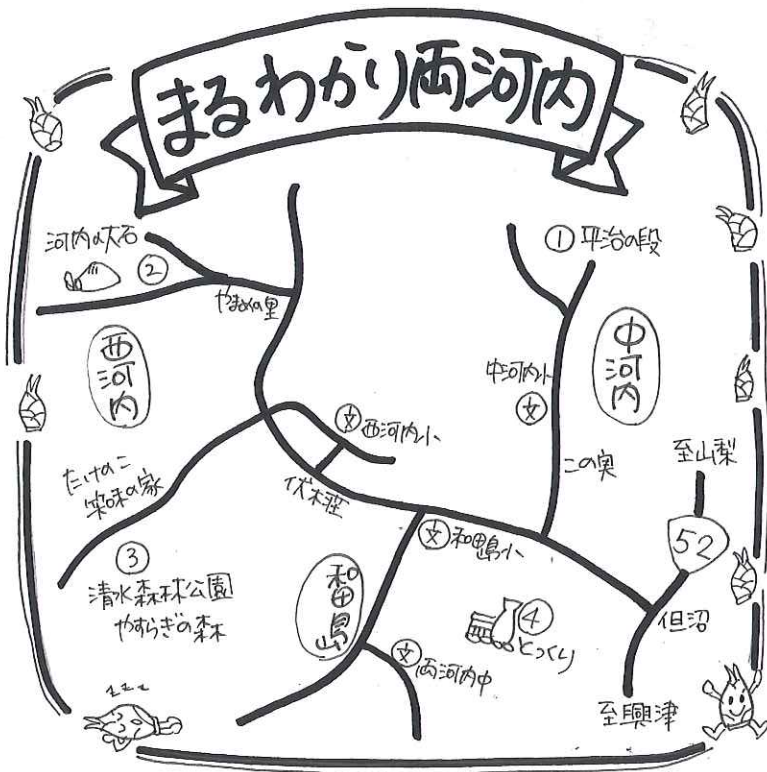
「あまりの楽しさに心奪われ、織りの魅力にハマってしまうことでしょう。」とおっしゃる東山さん。自分で紡いだ糸を使い、布を織り、作品を仕上げている楽しさ。何とも愛らしいこの世に一つだけの布が出来上がりました。大満足の母親委員達。家でも続けたいとキットを購入しました。次はどんな作品が出来上がるか楽しみです。



両河内ってこんなところ



両河内は興津川上流に位置し、四季折々に変化する山々に囲まれた自然豊かなところです。小さな両河内ですが、たくさんのお名所見どころがあります。ほんの一部を紹介します。



① 平治の段

標高937m「段」とは、静岡県中部から、山梨方面にかけて平らな部分を段と呼称し「平治」は樽集落に住んでいた人の名前。天候に恵まれれば愛鷹山系・竜爪山・富士・沼津・伊豆半島・駿河湾・静岡市街が見える大パノラマ

② 河内の大石

今から約150年前、安政の大地震と豪雨により流れてきた。一見山の崖の一角が露出しているように見えるが、実際は高さ19m周囲60mの巨大な1個の石で、安産の神様がまつられている。

③ 清水森林公園やすらぎの森

杉尾山の南側に位置し、夏にはテントを張ってキャンプができる施設がある。全国的なアウトドア活動「地球元気村」の舞台にもなり、美しい竹林では、ミニコンサートも行われる。(宇崎竜童さんも参加することがあるヨ) アスレチックで遊んだり、ウッドウォークを散歩もできる(夏にはホタルもいるヨ)

④ 興津川

静岡市の水道水はこの興津川の清流の水が使用されている。和田島には浄水場があり通称「とっくり」と呼ばれる高さ45mの配水塔がドーンと高くそびえている。川の水がとてもきれいなので、夏にはバーベキュー・川遊び・アユ釣りで賑う。オタマジャクシ・沢カニ・ヤマメ・イワナなどが生息している。

コンビニもなく店もほとんどない地域ですが、地元の産物を利用したとびきりおいしいお店も穴場です。

《笑味の家》 《たけのこ》 《この実》 《やまめの里》 《伏木荘》 等
自家製の手打ちそば、山菜の天ぷら、あわのご飯、いのしし肉の料理、竹の子料理、大きなコロッケ、ヤマメ料理、よもぎたっぷりのきんつば、手作りこんにゃくなど数えきれないご馳走があります

是非、両河内に遊びに来てください。

